

「尾母小中学校の三味線・浜踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	徳之島町立尾母小中学校
2. 学年・人数	全児童生徒 8人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年4月～令和7年3月（三味線教室） 令和6年9月4日，5日，6日，9日（浜踊り） (2) 発表の日時・場所 令和6年9月8日（三味線教室） 令和6年9月16日（浜踊り）
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能，伝統 行事，伝統工芸 品について	(1) 名 称 三味線教室（しゃみせんきょうしつ） 浜踊り（はまおどり） (2) 由 来 尾母地区は，昔から三味線演奏の盛んな地域である。特色ある教育活動の一環として，総合的な学習の時間を利用して，地域の人材を講師として招聘し，三味線教室を長年実施している。今年度も「子ども公民館講座」として，年間15回の三味線教室を実施している。浜踊りは稲作の収穫完了に伴う感謝祭で，感謝の気持ちを神様に捧げたのが始まりで，徳之島で最も古い踊りといわれている。 (3) 構成等 浜踊りは，男女の掛け合い歌で始まり，演舞形式で歌のテンポがだんだん速くなり踊れなくなったときクライマックスを迎えて終わる。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	三味線教室は，年度初めに校区内・町内の発表の場を確保し，発表に合わせた練習計画を年間15時間教育課程に位置付けて実践している。講師には，地域の人材を活用している。本校は，小中併設で特認校でもあるために児童生徒の三味線のスキルに個人差が見られる。そのため，演奏できる職員も指導に加わり，習熟度別の練習を取り入れている。浜踊りは，体育大会の練習の中で位置付けて，体育科教師が中心となって指導に当たる。体育大会練習時に指導に当たれる体制を構築し，上級生が下級生に指導する時間や場面を確保するといった伝承方法を子どもたちに身に付けさせている。
6. 取組の様子 （練習状況，発 表の場等）	 <p>三味線を敬老会で披露</p>  <p>浜踊りを体育大会で披露</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【地域】 ・ 三味線の演奏については，児童生徒及び職員・保護者全てが誇りを感じており，練習や指導も大変熱心である。 ・ 浜踊りに対しても，児童生徒，職員，保護者，地域の方々の全てに「決して絶えさせてはならない」という強い意識がある。